

第 11 回「博報日本語交流プログラム」

日本校 応募要項

この度、2020 年に実施予定の第 11 回プログラムに参加する中学校の応募受付を開始しましたので、ここにご案内いたします。たくさんのご応募をお待ちしております。

2019 年 6 月 3 日

主催／ 公益財団法人博報児童教育振興会

後援／  文部科学省

1. 目的

国際社会では、それぞれの国の生活や文化の多様性を理解し、認め合うことが重要です。この事業では、日本語を大切にしながら、異文化体験や国際交流を通じて、日本の生徒と海外の生徒がお互いの理解を深め、国際人として成長する機会を提供することを目的としています。

2. プログラム概要

この事業に参加できる日本の中学校を2校程度、募集します。

※ この事業は、学校単位での応募となります。

海外で日本語を学ぶ学校の生徒と引率する教師が来日し、日本校を訪問して、同世代の日本の生徒と日本語を通じて交流や異文化体験を行います。

※ 世界10の国・地域より10校程度(海外校1校あたり、生徒4名と引率の教師1名)を予定しています。

(a) 期間：2020年3月11日(水)～3月26日(木)<予定>

※ ただし、日本校の参加日程は下記、(b)体験内容に書かれた5日間

(b) 体験内容：学校訪問、日本校と海外校との各種交流活動

・合宿形式の課外活動(3/13～15 予定)

・学校訪問(3/16～19の内の1日 予定)

・海外校を中心とした発表会・歓送会(3/24 予定)

(c) 参加人数：合宿については日本校1校あたり、生徒20名程度と引率教師2名(予定)

(d) 助成内容：プログラム内の活動費(宿舍、食事、交通費、保険等を含む)、海外校を受け入れるために必要な諸経費

3. 応募条件

以下の条件を満たす学校を対象とします。

- ◇ 日本の学校教育法に規定された前期中等教育を行う学校であること
- ◇ 必要に応じて、国・関係諸官庁などからプログラムへの参加許可を得られること
- ◇ 来日する海外校の学校訪問受け入れが可能であること
- ◇ 来日する海外校との合宿形式の課外活動が可能であること
- ◇ プログラムの準備・実施に積極的・協力的に関われること
- ◇ 生徒を指導する教師を引率者としてプログラムに参加させることが可能であること
(合宿形式の課外活動:2名)

4. 応募手続

(1) 提出書類

参加申請書 1～3 をご郵送ください。

※ 「参加申請書1」には必ず所属教育機関長(学校長)による直筆の署名および捺印が必要となります。

学校長の署名が無い場合、無効となりますのでご注意ください。

※ 参加申請書は、当財団のウェブサイトからダウンロードできます。

<https://www.hakuhofoundation.or.jp/globalnet/>

(2) 受付期間と提出先

受付期間：2019年6月3日(月)～8月9日(金) 財団必着

提出先：博報財団 博報日本語交流プログラム 担当宛て

〒107-0052 東京都港区赤坂 2-11-7 ATT新館 8 階

TEL: 03-5570-5008 / FAX: 03-5570-5016 / E-mail: hakuho.gn@hakuhodo.co.jp

※ 2019年8月9日(金) 到着分まで有効

※ 応募書類は必ずご郵送下さい。FAX や E メールなどでの応募は受け付けておりません。

5. 選考方針・審査

提出された参加申請書をもとに、財団が組織する審査委員会において、以下の点を重視しながら、厳正に選考を行います。なお、審査内容とその過程は非公開とします。

- ◇ 参加動機・目的
- ◇ 海外校との交流アイデアとそのための準備・計画
- ◇ 学校環境や海外校を受け入れる体制
- ◇ その他、このプログラムの参加にふさわしい学校であると審査委員会で認められること

審査委員：阿部 祐子 国際教養大学 教授

(五十音順) 加藤 真一 ホサナ日本語学院 東京校 校長

菊岡 由夏 国際交流基金 日本語国際センター 専任講師

戸田 佐和 国際日本語普及協会 専務理事*委員長

6. 合否通知

審査結果は、2019年10月上旬に文書で合否を通知します。

なお、審査結果に関する個別の問い合わせには応じかねますのでご了承下さい。

7. 学校情報の公開

参加校に決定した場合、学校名などの情報を財団ホームページ他にて公表いたします。

8. 個人情報の取扱いについて

- (1) お預かりしました個人情報は、公益財団法人博報児童教育振興会が厳重に管理し、審査および選考、合否通知の発送、合格または参加決定時の発表、プログラム実施に係る連絡、当財団のホームページや新聞・雑誌等での活動報告および紹介、当財団のプログラムおよび活動の改善を目的としたアンケートの送付、ならびに当財団が主催する今後の事業のご案内やお知らせ、挨拶状および発行物の送付などの目的で使用いたします。なお、お預かりしました個人情報は、法令等により開示を求められた場合を除き、業務委託先以外の第三者に開示または提供することはありません。
- (2) 本プログラムの記録映像、記録写真および成果物は、当財団の活動の範囲内で、当財団のホームページやSNS、新聞・雑誌等での活動報告および紹介ならびに事業募集の告知物などに使用することがあります。個人の氏名や連絡先に関する情報は掲載いたしません。学校や個人を特定できる情報(写真や映像等を含む)については、該当する学校や個人に対して掲載内容を連絡のうえ、了承を得た範囲で掲載することとします。
- (3) 個人情報の取扱いに関するお問い合わせや、個人情報の照会、訂正もしくは削除のご要望または苦情の申出などにつきましては、下記のお問合せ窓口へご連絡ください。窓口担当者がご本人であることを確認させていただいたうえで、お問合せ等に関する手続きをご案内いたします。

問合せ窓口：公益財団法人博報児童教育振興会「博報日本語交流プログラム」担当

※ 当財団の個人情報保護への取り組みについては、以下のウェブサイトをご覧ください。

<http://www.hakuhofoundation.or.jp/privacy/>

このプログラムは、独立行政法人国際交流基金、公益社団法人国際日本語普及協会、呉鳳科技大学、スリランカ日本語教師会、土日基金文化センター、モンゴル・日本人材開発センター、ルーマニア日本語教師会の協力によって実施されています。

<参考>

□ 海外教師日本研修

博報日本語交流プログラムでは、参加する海外の生徒が日本の生徒とより交流を深められるよう、プログラム実施前年に、海外校の引率教師を日本へ招いて事前研修を行います。

(a) 期間：2019年11月11日(月)～11月30日(土)〈予定〉

(b) 研修内容：来日に向けた生徒への指導法、学校訪問や日本の文化・社会体験の事前体験 など

※ この研修に参加する海外教師の学校訪問受け入れについて、ご協力をお願いする場合があります。

▼本事業の流れ



博報財団(正式名称:公益財団法人 博報児童教育振興会)は、株式会社博報堂の創業75周年を記念して1970年に設立されました。

「ことばの力」を根幹に置き、子どもたちの成長に寄与したいとの願いから、「博報賞」「児童教育実践についての研究助成」「国際日本研究フェローシップ」「博報日本語交流プログラム」「博報財団こども研究所」などの児童教育の支援につながる活動を行っています。2018年にはこれらの事業に加え、新たに「博報教職育成奨学金事業」を設立しました。



〒107-0052 東京都港区赤坂 2-11-7 ATT新館 8階

Tel 03(5570)5008 Fax 03(5570)5016

<http://www.hakuhofoundation.or.jp/>